

(1) 受講の流れ

防災スペシャリスト養成研修 ホームページ

eラーニング「事前学習」
説明のページ

eラーニングサイト (LMS)

ログインページ

ユーザID・パスワードを入力してログイン

トップページ

共通問題 (標準テキスト 第1~3階層)

【問題1】 防災の基本理念

※下記①~③の問題からランダムで出題

- ①日本の防災の基本理念は、災害対策基本法に規定されている。(○)
- ②日本の防災の基本理念は、災害救助法に規定されている。(×)
- ③日本の防災の基本理念は、消防法に規定されている。(×)

回答

【解説1】 (正解と解説文+図)

<解説>

我が国の防災の基本理念は災害対策基本法に規定されている。

防災の基本理念 (1)

○我が国の防災の基本理念は、災害対策基本法に規定されている。

(基本理念)
第二條の二 災害対策は、次に掲げる事項を基本理念として行われものとする。
一 我が国の自然的特性に基き、人口、産業その他の社会経済構造の変化を踏まえ、**災害の発生を完全に防止する**など、に災害が発生した場合における被害の**最小化及びその迅速な回復を図る**こと。
二 国、地方公共団体及びその他の**公共機関の適切な役割分担及び相互の連携協力**を確保するとともに、これと併せて、**住民一人一人が自ら行う防災活動**及び自主防災組織(住民の積極協同の精神に基づき自発的な防災組織をいふ。以下同じ。)

（註）(1) 防災の考え方
（註）(2) 防災の考え方
自助・共助・公助の考え方

「標準テキスト」を利用して解答や解説が掲載されている箇所を赤枠などで示す。または、解説に沿って新にスライドを作成する。

「標準テキスト」や「研修指導要領」に詳細な説明が掲載されている場合は、各資料の該当ページを掲載する。

- ・ 標準テキスト . . . P. ○参照
- ・ 研修指導要領 . . . P. ○参照

【問題1】
回答結果

不正解

正解

【問題2+解説2】 ~ 【問題8+解説8】

アンケート (修了証)

個別問題 (標準テキスト第3~4階層)へ ※今年度は警報避難コースで試作

(2) 学習状況(ログ)及びアンケート結果の活用(案)

<LMSのログの活用>

- 講師に、初回テストの点数から受講者が分かりにくい項目を提供する。
⇒有明の丘研修で重点をおいて講義していただく。
- 演習でのグループ分けで、初回テストの点数の高低者を混在させる。
⇒学びあい、教えあいができるグループ化により、議論等を活性化する効果がある。
 - 現在は、国・都道府県・市町村の「混合型」か「分離型」のどちらかでグループ分けをしている。

<LMSのアンケートの活用>

- テストの難易度「難しかった/ふつう/易しかった」を聞く。
⇒難しかった箇所は、eラーニングの教材内容を見直す。
- その他、感想や改善点などの意見を聞く。
⇒意見の内容を踏まえ、教材や運営方法等を見直す。

(3) その他

<ログの取得への同意>

- ログを取得するため、受講前に受講者の「同意」を得る。
 - 防災スペシャリスト養成研修のホームページに同意書を掲載し、「同意する」にチェックを付けてからeラーニングのページに移動していただく。

<問い合わせ対応>

- 問い合わせ窓口先を設け、受講者からの問い合わせに対応する。
 - eラーニングの導入ページに問い合わせのメールアドレス、電話番号、平日の対応可能な時間帯等を記載する。
 - 問い合わせのあった内容は記録し、運営方法を改善する。

<デモの実施>

- 第4回企画検討会(12/22)にて、デモの実施を予定している。

Bookrollについて（案）

< Bookrollの利用 >

- 「Bookroll」は緒方教授（京都大学）が開発した学習用システムである。受講者が「PDF教材」を閲覧しながら教材に重要だと思ったことや難しかったことなどにマーカーを引いたり、質問などを書き込ませる機能があり、そのデータを授業に活用することを目的に活用する。

※スマートフォンでも利用可能。

- eラーニング時に「Bookroll」を下記のとおり利用することで、研修をより効果的なものとする。

➤ 「Bookroll」：サブシステム

Bookrollから「標準テキスト」等を参照できるようにして補助教材として利用していただくとともに、理解が難しかった箇所へのマーカーや講師への質問を入力していただくことで、収集した受講生からの情報を事前に講師へ提供し研修の内容等に配慮していただく。受講生にはそのメリットを説明して利用を促す。

< Bookrollのログの活用 >

- 講師・コーディネータへ集計結果を事前提供する。
⇒講師に、理解が難しかった事項や質問等について、研修でより丁寧に説明していただくことで、受講者の理解につなげる。